

町内会長様は町内回覧にご協力ください。


# 社協

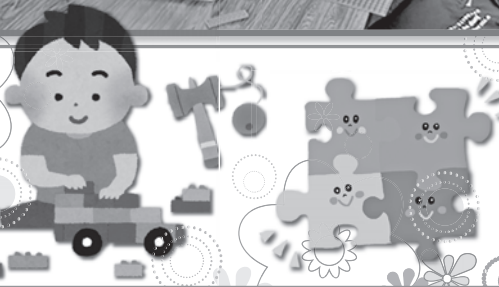
社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会広報紙

# はちのへ

第135号

令和5年6月  
発行

## 熊谷市長、吹上児童館へようこそ!



令和5年4月25日、吹上児童館に熊谷市長がご来訪されました。おおよそ100人の児童が市長をお迎えし、それぞれの遊びを紹介したり、けん玉やパズルゲーム、ブロックなどで一緒に遊んだりしました。たくさんの笑顔の花が咲き、楽しいひと時を過ごすことができました。

児童館は、遊びを通して子どもたちの心身の健康を増進し、情操を豊かにするための遊び場として市内15ヶ所に設置されており、小学校1～3年生を中心にさまざまな遊びやスポーツに取り組んでいます。

八戸市社会福祉協議会では、市の指定管理者として児童館の管理運営を行っております。各児童館で毎月発行している児童館だよりを、社会福祉協議会のホームページに掲載しておりますのでどうぞご覧ください。

基本理念

誰もが安心して 生き活きと 住み慣れた地域で暮らせるまちづくり  
～ともに生き、つながりを絶やさない地域づくりを目指して～

令和4年度から令和8年度までの5ヶ年間を計画期間として策定した、「第4期地域福祉活動計画」に基づき、地域、関係機関、各種団体等と連携して、小地域における地域福祉活動の推進、ボランティア活動の推進、生活困窮者への支援等に取り組みます。

1 みんなで支え合う地域づくり

すべての人が、自分が暮らす身近な地域で起きている問題に関心を持ち、自ら参画し、地域における多世代間での交流、話し合いを通じて解決につなげられる場の充実をめめます。また、住民の福祉意識を醸成し、住民や地域の団体など地域の資源を最大限活用し、見守り・助け合いの活動を促進することで、みんなで支え合う地域を目指します。

- 1 地区社会福祉協議会活動への支援
- 2 住民同士の支え合いの促進
- 3 福祉ニーズの把握

2 福祉の心を育む人づくり

地域福祉の推進には、地域の人の理解と協力が必要です。地域福祉に触れるきっかけとして、地域福祉情報やボランティア活動情報の発信、福祉教育・体験、イベントの開催等を行い、地域で協力し合える関係を築きます。

- 1 福祉教育の推進
  - ①ボランティア推進校事業 ②出前講座
- 2 ボランティア活動への参加促進
  - ①ボランティアセンター運営事業 ②シニアはつらつポイント事業
- 3 活動の担い手の養成

3 安心して暮らせる地域づくり

誰もが、地域でいつまでも安心して暮らせるよう、日頃から地域の助け合いの中で、一人ひとりの権利や生活が守られ、安全安心に暮らせる地域づくりを目指します。また、災害時のボランティアの体制づくりやネットワークづくりを進めます。

- 1 地域での自立支援体制の充実
  - ①八戸市生活自立相談支援センター
  - ②たすけあい資金の貸付及び生活福祉資金の貸付相談
  - ③フードバンク ④ふれあい相談所 ⑤障がい者への就労支援事業等
  - ⑥福祉安心電話サービス事業 ⑦福祉団体との連携と育成
  - ⑧社会福祉法人のネットワークの構築
- 2 権利擁護の推進
  - ①日常生活自立支援事業(あつがるハート) ②成年後見センター
  - ③後見監督業務 ④法人後見事業
- 3 災害時の支援体制の充実
  - ①災害ボランティアコーディネーターの育成
  - ②災害ボランティアセンターの設置・運営訓練
  - ③災害ボランティアの啓発活動
  - ④災害ボランティアネットワーク八戸との連携
- 4 福祉サービスの充実
  - ①介護保険サービスの実施 ②苦情解決窓口の設置
  - ③福祉人材の育成
  - ④福祉バス受付事務 ⑤歳末たすけあい募金配分事業
  - ⑥地域密着型サービス外部評価
  - ⑦指定管理施設運営
    - ・八戸市総合福祉会館 ・八戸市児童館
    - ・八戸市立デイサービスセンター及び老人福祉センター南郷

4 信頼される運営基盤づくり

1～3の目標達成のために、市協が担うべき役割を再認識し、地域資源や取り組むべき課題について分かりやすく伝え、活動への幅広い層の参加につながるよう、広報の強化に取り組みます。また、地域や専門職等から把握した情報を、各関係団体や関係機関、行政と連携した包括的な支援につなげられる人材育成に努めます。

- 1 組織運営事業
  - ①理事会等の開催 ②監査の実施 ③情報公開
- 2 自主財源の確保
  - ①会員の拡大 ②共同募金運動の推進
- 3 職員の資質向上と人材育成
- 4 広報活動
  - ①広報誌「社協はちのへ」の発行(年4回)
  - ②インターネットを活用した広報(ホームページ、フェイスブック等)
  - ③八戸市社会福祉大会の開催



令和5年度予算

(単位：千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
会費収入	10,677	人件費支出	314,267
寄付金収入	801	事業費支出	139,838
補助金収入	31,569	事務費支出	8,852
共同募金配分金事業費収入	15,168	貸付事業支出	5,000
助成金収入	362	共同募金配分金事業費支出	11,050
受託金収入	319,212	流動資産評価損等による資金減少額支出	1,595
貸付金事業収入	5,000	施設整備等支出	0
事業収入	2,148	固定資産取得支出	680
介護保険事業	74,587	積立資産支出	1
受取利息配当金収入	502	その他の活動による支出	1,650
雑収入	879	当期支出額計	482,933
施設整備等補助金収入	0		
積立資産取崩収入	11,000	予備費	1,000
その他の活動による収入	0	当期末支払資金残高	29,680
当期収入額計	471,905	支出合計	513,613
前期末支払資金残高	41,708		
収入合計	513,613		

※事業計画書、予算書は八戸市社会福祉協議会で閲覧できます。またホームページにも掲載しております。



# 各種サービス案内

## ファミサポ提供会員募集

八戸市ファミリー・サポート・センター（通称：ファミサポ）事業は、「働く人々の仕事と子育ての両立を支援する」という目的から開設されました。地域において育児の援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）が会員となり、子育てについて助け合う組織です。活動は有償ボランティアとなります。

八戸市では、約300名の地域住民が、ファミサポの提供会員や両方会員として、仕事と子育ての両立に悩む家庭の子どものお預かりや送迎等のサポートをしています。下記の講習会に参加し、一緒に地域の子育てを応援しませんか？

▼チラシはこちら▼



### 令和5年度第1回提供会員養成講習会

期 日：7月14日(金)、24日(月)、31日(月)  
時 間：10時～15時  
対 象：八戸市在住の18歳以上の方  
内 容：保育に関する知識を学び、提供会員に登録する。  
参加費：テキスト代 2,000円  
申込み：八戸市ファミリー・サポート・センター  
電 話：0178-71-2750



## ～権利擁護に関する相談窓口の紹介～

このようなことでお困りはありませんか？

成年後見制度って  
何をしてくれるのだろう…

福祉サービスをどのように  
利用したら良いのだろう??

金銭管理や役所の手続き等  
に自信がない…

八戸市社会福祉協議会では、認知症・知的障がい・精神障がい等の精神上的障害により物事を判断する能力が十分ではない方の権利を守るため、成年後見制度等の相談窓口である八戸圏域成年後見センターを市の委託により運営しています。

相談内容に応じて日常生活自立支援事業(あっぷるハート)※1をご紹介します等、その人にあった支援方法を検討・提案いたしますので、まずは下記までお気軽にご相談ください。

※1 県委託事業で福祉サービス利用援助・金銭管理等を行う事業

八戸圏域成年後見センター（市委託事業）  
場所：八戸市根城 8-8-155 総合福祉会館 1階  
電話：0178-24-1324

## 福祉のお仕事してみませんか？

福祉人材バンクは、福祉の仕事をしたい人と、人手を必要とする福祉施設や福祉サービス団体の橋渡しをすることを目的に厚生労働大臣の許可を受けて開設した無料職業紹介所です。

【業務内容】

- 1) 無料職業紹介事業…求職者の登録及び求人に応じた職業の紹介・斡旋（紹介状も発行しています）
- 2) 福祉サービスの広報・啓発…パンフレットやポスターによる福祉の仕事のPR
- 3) 福祉人材の養成…福祉の仕事と職場説明会・高校生の福祉の仕事体験セミナーの開催等

【取扱い地域】 八戸市・十和田市・三沢市・上北郡・三戸郡

福祉の仕事に  
就きたい方

登録  
情報提供

福祉人材  
バンク

斡旋  
求人

福祉施設・  
福祉サービス団体

### 出張相談会のご案内

保育と福祉のお仕事「一日出張相談会」を同時開催します。福祉に興味のある方、転職活動中の方など、どなたでもお気軽にお越しください。

◎八戸・おいらせ会場 開催情報

- 令和5年6月 6日(火) 10:00～13:00 ラピア 1階ファッションストリート入口
- 令和5年6月13日(火) 10:00～13:00 イオンモール下田 1階ウェルカムコート

チラシ▼



# インフォメーション

## ボランティア市民活動 フェスティバル2023

八戸市内のボランティア団体や市民活動団体がそれぞれの活動状況を紹介するボランティア・市民活動フェスティバル2023を開催します。詳細が決まりましたらホームページでお知らせします。

- 期 日 令和5年8月19日(土)
- 時 間 10:00~15:00
- 場 所 八戸ポータルミュージアム「はっち」

## ふれあい相談所

日常生活の悩み事や法律問題についてのご相談を無料でご受け付けています。

- 場 所 八戸市総合福祉会館3階

### なんでも相談

- 相 談 日: 毎週水・金曜日(10:00~15:00)  
※祝日、12/29~1/3は休み。
- 電 話: 0178-44-1110(直通)

### 法律相談(完全予約制)

- 相 談 日: 毎週火曜日(13:00~16:00要予約)  
※祝日、12/29~1/3は休み。
- 予約電話: 法テラス青森 050-3383-5552  
(平日9:00~17:00 土日祝日・年末年始休み)
- ※法律相談を利用するためには、収入が一定以下であるなどの条件を満たすことが必要です。申込みの際には、収入や家族構成などを伺います。

## 食料品のご寄付ありがとうございます!

八戸市社会福祉協議会では、緊急的・一時的に生活にお困りの方に無償で食料を提供するフードバンク事業を行っております。

地域には、病気やけが、突然の解雇などにより、その日の食べ物に困っている方がいらっしゃいます。ご寄付いただける食品がございましたら、八戸市社会福祉協議会までご連絡お願いいたします。

### ○ご寄付いただきたい食品

- ・穀類(お米・乾麺など)
- ・保存食品(缶詰・レトルト食品など)

※賞味期限まで2カ月以上あるもの、常温で保存可能なものに限りです。



### ↑ご寄付いただいた食品↑

フードバンクで提供する食料は、企業や個人の方からの寄付で成立しています。ご寄付いただいた方々、ありがとうございました。

## 社協会員を募集しています!

八戸市社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指すために、会費を通じてご協力いただく会員を募集しております。

いただいた会費は、小地域での福祉活動やボランティアセンターの運営、相談・啓発活動、適正な法人運営などに活用させていただきます。

- 一般会員 年額 200円(1世帯あたり・町内会を通じてご加入いただいております。)
- 施設会員 年額 2,000円(1口)
- 特別会員 個人会員 年額 2,000円(1口)
- 企業会員 年額 5,000円(1口)

問合せ・申込み  
0178-47-2940

## 八戸市社会福祉協議会を応援します

墓石加工販売専門店

## 番地石材店

八戸市根城4丁目18-9  
電話 22-5734

企業の保険は複雑です。  
だからこそ貴社の保険をオーダーメイドで。

## 日本インシュアランス株式会社

〒039-1165 青森県八戸市石堂2-11-21  
TEL 0178-38-9306 FAX 0178-38-9307  
E-mail m.satou@nippon-insurance.co.jp

カーエレクトロニクスのコンサルタント  
南部電機株式会社

〒031-0071 八戸市沼館一丁目20-5  
TEL 0178-43-9911(代)

## 社会福祉法人 八陽会

特別養護老人ホーム 修光園  
〒031-0012 青森県八戸市大字十日市字黒坂 35  
TEL 0178-96-4895 FAX 0178-96-3957

特別養護老人ホーム 修光園サテライト

## 身寄りのない犬猫の里親探し会 犬猫ふれあい譲渡会

日 時: 毎月第1、3日曜日 pm2:00~4:00  
会 場: ビアドック北側出入口脇(雨天開催)  
主 催: 動物愛護支援の会八戸  
電 話: 080-3149-0486・090-3363-0770  
(平日20:00~22:00)  
H P: <http://www.inuneko-hachinohe.com>  
メー ル: [inuneko@inuneko-hachinohe.com](mailto:inuneko@inuneko-hachinohe.com)  
※譲渡条件、もらい手を探したい方はHPをご覧ください。

編集・発行

## 社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会

八戸市根城8-8-155 八戸市総合福祉会館1階  
TEL: 0178-47-2940 FAX: 0178-47-1881  
mail: [office@hachinohe-shakyo.or.jp](mailto:office@hachinohe-shakyo.or.jp)  
URL: <https://www.hachinohe-shakyo.or.jp>  
発行: 年4回(6月・9月・12月・3月)

・本誌は、会員の皆様からの会費、共同募金の配分金を活用しています。